

# 津久井中央ロータリークラブ



事務所・例会場

相模原市緑区中野 1029 津久井商工会館 2F

TEL 042-780-0201 FAX 042-850-4830

例会日 毎週木曜日 時間 12:30~13:30

会長 水野 茂 幹事 小川洋一



第 1227 回 令和 2 年 8 月 27 日(木曜日) 《7》

司会 池田豊文 SAA 水野 茂会長 斉唱 奉仕の理想

## 会長挨拶 水野 茂会長

皆様、こんにちは、先日の納涼例会お疲れさまでした。

本日の会長挨拶は、私の大好きなプロレスの歴史話です。

最初の日本人プロレスラーは元力士のソラキチ・マツダとされています。明治 16 年にアメリカでデビューし、その他、数名の日本人、日系人が主にアメリカでプロレスラーとして活動していたことが確認されています。明治 20 年に東京・銀座で「西洋大角力」を開催、これが日本初のプロレス興行とされていますが、観客は集まらず失敗に終わりました。

日本のプロレス界は、力道山がデビューした 1951 年（昭和 26 年）を日本における“プロレス元年”とされています。プロレス興行が根付いたのは、力道山が 1953 年に日本プロレスを旗揚げしてからのことです。戦後間もない頃で、多くの日本人に反米感情があり、力道山が外国人レスラーを空手チョップで痛快になぎ倒す姿は街頭テレビを見る群衆の心を大いに掴み、プロ野球、大相撲と並んで国民的な人気を獲得しました。

その後、国内においては力道山の率いる「日本プロレス」の独占市場でありましたが、力道山の死後、東京プロレス・国際プロレス（いずれも現

在は消滅）が相次いで旗揚げし、さらに力道山死後（1963 年 12 月）の日本のプロレスを支えていたアントニオ猪木が新日本プロレスを、そして、ジャイアント馬場が全日本プロレスを旗揚げし、両エースを失った日本プロレスは崩壊しました。

1970 年代以降、猪木はプロレス最強を掲げてモハメド・アリらと異種格闘技戦を行い、馬場も NWA（全米レスリング同盟）とのコネクションから多くの大物外国人レスラーを招聘しそれぞれ人気を獲得し、国際プロレスもヨーロッパ路線・デスマッチ路線を展開し独自のファン層を開拓しました。

1980 年代に入ると馬場の弟子であるジャンボ鶴田、天龍源一郎、猪木の弟子である藤波辰巳、長州力らが台頭しました。また、新日本では佐山聡がタイガーマスクとしてデビュー。1984 年には前田明、高田延彦が UWF を旗揚げし、ショー的要素を排除したシュートスタイルのプロレスを確立し、その後の総合格闘技の台頭へと繋がっていきます。

1988 年には大仁田厚が FMW を旗揚げ。デスマッチを主体とした興行で成功を収め、インディー団体というカテゴリーを確立しました。

1990 年代に入ると FMW の成功を受けて多くのインディー団体が相次いで旗揚げされ、団体乱立

## 【 出席報告者 井上 旭委員長 】

現在会員数	出席対象数	本会出席数	本会欠席数	本会出席率	前回修正出席率	前々回修正出席率
20	20	16	4	80.00%	78.95%	100%
本日欠席者	沼崎会員、田畑会員、山崎会員、杉本会員					

の時代を迎えました。この頃から馬場、猪木が第一線を退き、プロレス人気に翳（かげ）りが見えるようになった。それまでゴールデンタイムで中継されていたプロレス中継は深夜帯へと移動し、ジャンルのマニアック化が進みました。

一方、興行面では東京ドームなどの大会場の使用が進んだこともあって観客動員においては最高潮を迎え、この頃からアメリカンプロレスがテレビ主導の興行に切り替えを行ったため、外国人レスラーの招聘が困難になり、日本のプロレスは日本人レスラー同士の闘いに重点を置くようになり、新日本では闘魂三銃士（蝶野正洋、武藤敬司、橋本真也）、全日本ではプロレス四天王（三沢光晴、川田利明、田上明、小橋健太）が台頭し、業界を牽引しました。1990年代後半に入るとK-1、PRIDEなど総合格闘技が台頭し、それまでプロレスが請け負っていた異種格闘技としての側面を奪われる形となりましたが、メジャー団体とインディー団体の交流は1990年代から頻繁に行われるようになりました。

2000年代以降はメジャー団体同士の交流が盛んに行われるようになり、WRESTLE-1、ハッスルなどエンターテインメント志向のプロレス興行が行われるようになりました。さらに2000年代後半からは第三世代の下にあたる第四世代とも言える新世代の台頭が著しくなり、各団体の勢力図が変革されました。

現在は、男女合わせて76団体が存在し、活動しています。日本人が、世界最大のプロレス団体のWWEに参戦し、チャンピオンにもなっていますし、今後もプロレスは色々な変革をしながら続いていくと思います。

以上を持ちまして、会長挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告 小川洋一幹事

先日の納涼例会の会費を参加者から集めるのですが、今日は杉本親睦委員長がお休みなので、後日徴収します。

今年度の青少年交換プログラムについて募集内容の変更がありました。新型コロナウイルスの影響で、今年度の留学が延期になったため、

2021-2022年度の募集は中止になりました。

ガバナー訪問、ガバナー補佐訪問についてですが、ガバナー補佐訪問が10月15日で、この時にクラブ協議会を行います。協議会のテーマが「クラブ活性化のためにどうするか」です。何か意見がありましたら配布した用紙に記入して下さい。会長が協議会を進行しますが、誰に振られるかわかりませんので、意見を考えて頂ければと思います。

ガバナー訪問は10月29日ですが、例会の前にガバナーとの懇談会があります。出席者は会長・幹事とクラブ役員・理事は全員、それと地区出向者、新入会員の本田さんです。また、杉岡年度以降入会の新会員に「テーマピン」と「日本ロータリー100周年記念ピン」の贈呈があります。

地区への意見として、地区大会や地区協議会などの報告書について毎年非常に立派なものを作成しているが、簡素化（CDにするなど）したらどうか、その必要性和費用について聞いてみたいと思っています。

ガバナーへの質問、意見、要望はガバナー補佐の訪問時に提出することになっていますので、質問、要望等ありましたらその時までに出して頂くようお願いします。

## 米山奨学会セミナー報告 小山里枝米山奨学委員長

（報告に先立ち確認です）今年度、米山奨学会委員会委員は吉野会員、佐藤会員、森田会員です。

本日は、先日8月22日（土）藤沢のミナパークにて行われました米山奨学セミナー・カウンセラー研修会の報告を致します。よろしくお願い致します。研修会は定刻の午後3時から始まりました。ご講演は大和中ロータリークラブの後藤定毅米山記念奨学会理事と2020-2022年度よねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエテレビさんでした。アヘゴさんは現在34歳、「トーゴ」出身。【2017 2月ロータリーの友に掲載】トーゴはどこにある国かご存知でしょうか？トーゴは西アフリカにある縦に細長く上から5つの州に分かれている国です。西に

ガーナ、南にギニア湾があります。

後藤理事のご講演は 2018 年度の収支内訳から始まりました。米山記念奨学会設立の趣意は、昭和 24 年に東京ロータリー倶楽部が設立し、昭和 32 年に全国のロータリークラブに参加を求め、国際留学生に対する奨学金の支給を通じて、初期の目的たる国際理解と親善にも多大の成果を収めつつあるロータリー米山記念奨学会の事業と財産を継承し、法人化によってその基礎を確立し、今後一層奨学事業の発展を期するため設立されたものであるということ。そして寄付金のうち、その 96%以上が事業費であることで公益性の高さが証明されます。また、ホームページに事業報告書を書き、豆辞典やロータリーの友「よねやまだより」、また寄付金パンフレットにより情報が公開されていますので、ご覧ください。2019 年度（今年の 6 月 30 日まで）の予算に関しては、奨学事業安定積立資産取崩しとして約 1 億 1 千万円の収入があり、これは今後 7 年間、このような形で使われていくそうです。世話クラブの業務内容についてのお話。奨学生は前年度 28 名、今年度は 30 名（参考；第 5 グループでは相模原ロータリークラブ、相模原柴胡ロータリークラブ、相模原南ロータリークラブ、相模原中ロータリークラブ、そして相模原東ロータリークラブが）受け入れております。

大切なことは奨学生の受け入れが終了しても奨学生とのつながりを持ち続けること。それは日本と海外との懸け橋ということでロータリークラブも携わりずっと良い関係をつなげていくことが大事だということ。国内では民間最大規模の国際奨学事業であること。有能な人材を育成してきたわけですから、奨学金（の支給）が終わってもお付き合いを続けていただきたい。奨学生と良い関係を作り上げ、長くお付き合いを続けていくことが大事。

また奨学金が減っており、奨学生はアルバイトもままならない状況で、非常に厳しい生活を強いられているという現状だそうです。今、コロナ禍で日本の学生も大変だと思いますが奨学生にとりましては、ロータリーの支えが非常に大きいとのことで、今後とも何卒ご寄付をよろ

しくお願いいたしますとのことでした。

※詳しくは既に配布済みの「ロータリー米山記念奨学事業」豆辞典に載っておりますので、こちらでもご覧くださいませ。

米山親善大使のアヘゴさんは 2014 年 4 月から 2015 年の 3 月まで新潟の医療福祉大学大学院に所属していました。現在は義肢装具を作る仕事をされています。背が高く、スタイルも良く、スポーツ選手のような方で、とても明るく語学も堪能（英語、フランス語）とのこと。当日のご講演も流暢な日本語でした。2020 年 7 月から第 4 代米山親善大使としてご活躍されています。

この日はコロナ禍での開催でしたので委員長、カウンセラー合同で 通常より短縮された研修会でした。予定より 30 分ほど早くに終了しましたが、最後に（急遽）カウンセラー経験者 3 名のお話を拝聴しました。寄付は大事、奨学金が終わっても大事な人材を育てたのだから末永くロータリーと関わっていただき、自分たちのためにも、日本のためにも、彼らのためにも良い状態を継続することが大事とのことでした。

当クラブでは受入が難しい状態が続いていますが、知識として各会員皆様の意識を高めていただき、今後の米山奨学に関して、当クラブでも何かできることがあればしていきたいと思っております。

10 月の米山月間では、通常は奨学生や学友に卓話をお願いしたりしますが、コロナ禍の状態では何ともわかりません。今後、地区にも確認し早めに決めたいと思います。以上で報告等を終わります。

【2018 7 月号 ロータリーの友に小沢一彦氏の記事が掲載されています】



## スマイル報告 井上 旭委員長

津久井中央 RC

水野 茂会員

暑い日が続きますが、無理をしないで頑張りましょう。

小川洋一会員

暑い日が続きますが、季節はもう秋です。散歩をしているとドングリが一杯落ちています。それをふみつぶして歩くのが楽しいです。

池田豊文会員

いよいよ息子の反抗期到来です。とりあえず体力作りから始めようと思います。

吉野賢治会員

毎日暑いですね！ 先週の移動例会出席出来ず残念でした。早くさわやかな風の吹く日がこないですかね！

八木 勉会員

蒸し暑くて、腐りそうです。皆さん、大丈夫ですか？

前沢弘之会員

先日の納涼例会、水野会長のお孫さんと、本田さんのお子さん。久しぶりに子供たちの参加を見て、何だかとても良い気持ちになりました。ちなみに「セイヨウダイカクキリ」ではなく、「セイヨウオオズモウ」だと思います。

佐藤祐一郎会員

皆様、高尾山に行けず、申し訳ありませんでした。今日は沼崎さんがゴルフをやっていますので、きっと雷雨になると思います。

山口八重子会員

毎日の日常がいつもと違うので、なれるのに大変ですが、少しずつ少しずつ慣れて行かないと生活できませんね。もう少しかな、頑張ろう。今日もここに出席出来て感謝です。

所谷 弘会員

先日は高尾山での楽しいひととき、又、バスを御利用頂き、ありがとうございました。しばらくスマイル出来そうです。

具 尚禮会員

娘がホールインワンをだしました。今年スタート Golf プロをめざすという事から8ヶ月…。プロはすばらしい精神力だと娘を見て思いました。ホールインワンからのこり3ホールで動揺してしまった私は、5オーバー。ホールインワンからもパーをとってくる娘。結果、私 84、娘 78…。8ヶ月で抜かれました。ちなみに Golf 保険入ってました。1ヶ月分 Lesson フィーがうきました。

西迫洋美会員

一番心配な認知症試験にパスして相模原市は一杯と大船まで講習を受けに行き、今日申請して10月29日新しい運転免許証が手に入ります。齢をかさむとだんだんに大変になります。

森田正紀会員

思い込みに注意しましょう！ 先日、営業車(タクシー)のエンジンが急にかからなくなり、原因をスターターだと思い込み、レッカーで修理工場に入れたところ、バッテリーが原因ですぐに引き取りに行きました。土日のため、2日間休車になってしまいました。

小山里枝会員

きょうは遅れてしまい、ロータリーソングが歌えず残念です…。いきなりの大降りの雨に驚きましたが、既にカラッとしていますね。この時期は要注意です。思考能力の低下にしょげております～

高橋幸一会員

「夏の女神くじ」が9/8まで絶賛発売中です。7人の女神がいるのですが、地区によって立ち位置が変わるのを知っていますか？ 今回は娘がセンターですので、ご協力宜しくお願いします。

井上 旭会員

過日の高尾山ビアマウントは、久しぶりにみんなで楽しく過ごしました。コロナがなければ、ちよくちよく楽しみたいですね。本日8月最後の例会です。でも残暑が厳しく、さわやかな秋が待ち遠しいです。